

# 令和 7 年度 此花区運営方針の取組状況



此花区役所



# 「令和7年度此花区運営方針」

## 経営課題 1

区内の活性化と回  
遊促進

## 経営課題 2

安心・安全・きれい  
で環境課題に取り  
組む街の実現

【防災・防犯・  
環境】

【「気にかける」  
地域づくり】

## 経営課題 3

区民の健康の維持・  
向上

## 経営課題 4

子育て環境の向上

## 経営課題 5

各種施策展開の土台  
づくり

【魅力創出・  
伝わる広報】

【町会加入  
促進等】

【社会的なつながり  
が希薄な世帯等に  
対する支援】



Point

上記の5項目を重点的に取り組む主な経営課題と位置づけています。

# 経営課題 1 区内の活性化と回遊促進

課題認識	R 7 年度 主な戦略	R 7 年度 取組状況	現時点での評価
<p>此花区の魅力を向上させ、目標・使命に掲げる街を実現するため、次の事項に取り組む必要がある。</p> <p>・区内回遊促進を図り、区内を活性化すること</p>	<p>・西九条駅から西に向かって<b>イルミネーション</b>スポットを設け、区民、団体、事業者を巻き込み参画を促すことも含めて、万博来場者へのおもてなし及び区内回遊促進を図る</p>	<p>・西九条歩道橋、朝日橋、正蓮寺川公園において区民、団体、事業者の参画も得ながらイルミネーションを実施 (令和7年7月～令和7年10月)</p>	<p>・本市人流データツールによる分析 【人流（夜間）の前年比（増減率）】 西九条歩道橋（15％増加） 朝日橋（53％増加） 正蓮寺川公園（7％増加）</p> <p>・プロジェクトへの参画事業者等登録数（まっぷナビ大阪登録数）59件</p> <p>・Instagramによる発信 イルミネーション関連の投稿数が通常投稿（万博関連の投稿を除く）と比較して60％増加</p> <p>以上より、一定の注目を集め区内回遊促進の一助になったといえる</p>
<p>・西九条駅を関西No1リゾートエリアへの玄関口として位置づけ、注目される街とすること</p>	<p>・西九条が「<b>関西No1リゾートエリアの玄関口</b>」であることを区内外にPRする</p>	<p>・ウェルビーイング会議等の場や民間企業等との協議の場において積極的に周知</p> <p>・此花観光ガイドブックに掲載し、JR西九条駅等に配架するなど広く区外に向けPR</p> <p>・此花観光ガイドブックをデータ化しHPに掲載</p>	<p>・ウェルビーイング会議参加企業により西九条駅近辺に新たな飲食店等が展開した</p> <p>・西九条が「<b>関西No1リゾートエリアの玄関口</b>」であることについて、社会的認知度を向上させるため、引き続き積極的にPRを行っていく</p>
<p>・舞洲・常吉エリアをエリアとして活性化・ブランディングし、湾岸エリア全体としての魅力を一層向上させること</p>	<p>・湾岸エリア全体のブランディングについて、舞洲等の本市所管部局と協議を図る</p> <p>・「<b>ウェルビーイング此花</b>」を通じて、官民共創・民民共創により、舞洲・常吉エリア活性化・ブランディングプロジェクトを立ち上げる</p>	<p>・湾岸エリア全体のブランディングについて舞洲等の本市所管部局と協議を開始</p> <p>・「ウェルビーイング此花」にて舞洲・常吉エリアの事業者等と協議を実施（令和7年5月）</p> <p>・常吉エリアの催しに舞洲エリアの事業者等が参画し盛り上げを実施（令和7年8月）</p>	<p>・湾岸エリア全体のブランディングに向け、舞洲等の本市所管部局との協議を引き続き進めていく</p> <p>・舞洲・常吉エリアの事業者等と継続的に協議を実施しており、今後はプロジェクト立ち上げに向け、一層取組を進めていく</p>

経営課題 2

安心・安全・きれいで環境課題に取り組む街の実現

【防災・防犯・環境】

課題認識	R 7 年度 主な戦略	R 7 年度 取組状況	現時点での評価
<p>安心・安全・きれいで環境課題に取り組む街を実現するため、次の事項に取り組む必要がある。</p> <p>・災害が発生又は発生するおそれがある場合に、全ての区民が自助・共助・公助により適切に避難ができること</p> <p>・街の美化や環境問題への取組が推進すること</p>	<p>・避難行動要支援者を対象に災害時の支援者選定を促し、<b>個別避難計画</b>の策定を推進</p> <p>・水害や地震に備え、区民の状況に適した<b>私の防災行動計画（マイ・タイムライン）</b>配付を推進</p> <p>・災害の発生に備え、地域で避難先を選定のうえ避難できるよう、<b>此花区での地域一斉の津波避難訓練</b>を実施</p> <p>・既存の<b>ごみ拾いアプリ「ピリカ」</b>の活用に加え、環境美化の取組を区民や事業者と共創</p>	<p>・優先度の高い避難行動要支援者に対し、個別避難計画の策定を推進する。支援者の選定が困難な方には、地域や事業者等に支援協力を依頼する。</p> <p>・マイ・タイムライン（私の防災行動計画）の更なる配付に努める。</p> <p>・令和8年2月に地域一斉の津波避難訓練の実施を予定している。ひとりでも多くの命を救うため、可能な限り屋内や軒下などの適切な避難先の選定に努め、事前に各地域とワークショップを重ね、各種課題に対処する。</p> <p>・「ピリカ」を区HP等で周知し、地域や事業者とクリーンアップ事業を行うとともに地域団体等への清掃用具等の貸出しなど、街の美化事業に取り組む。</p>	<p>・優先度の高い避難行動要支援者に対し、個別避難計画の策定（総件数366件）を進めている。 のべ策定件数290件（策定率79.2％・令和7年9月末現在）</p> <p>・令和7年9月末現在で、マイ・タイムラインの総配付件数が区内世帯数の約7割となる22,277件となり、「わかる防災」として一定の役割を果たしている。</p> <p>・令和7年6月・9月に連合振興町会長会議にて説明・周知し、「できる防災」として、地域一斉の津波避難訓練の実施に取り組んでいる。</p> <p>・「ピリカ」の活用を区HP等で周知（令和7年6月）し、来年度には、本格的な導入・活用を行う。また、引き続き清掃用具等の貸出しを実施している。 4</p>

# 経営課題2 安心・安全・きれいで環境課題に取り組む街の実現 【「気にかける」地域づくり】

課題認識	R 7 年度 主な戦略	R 7 年度 取組状況	現時点での評価
<p>安心・安全・きれいで環境課題に取り組む街を実現するため、次の事項に取り組む必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「気にかける」地域づくりが実現し、誰もが安心して生活できる状態（～気にかけるつながる支えあう～）を実現すること</li> </ul>	<p>区役所、区社会福祉協議会が協働し、「<b>気にかける</b>」<b>地域づくり</b>や「<b>このはな地域見守りタイ</b>」をはじめとする見守り活動について、各団体・各地域に周知を図るとともに、さまざまな主体の参画を得て取組を一層進めることで、誰一人取り残さない安心して暮らせる地域を形成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援を必要とする対象者を掘り起こして適切な支援につなげるとともに、日々の見守りを通じて異変を早期に発見するため、見守りを行う個人(ボランティア)の確保・育成)や団体(協力の要請、民間企業との共創)を増やし、誰もが安心して生活できるよう好循環を構築する。</li> <li>・見守りの担い手(「このはな地域見守りタイ」事業のボランティア等)の平均年齢が高くなり、活動に使用をきたす方も増えてきていることから、新たな担い手の確保・育成を重点的に行う。</li> <li>・ICTツールを活用した見守りの新たな取組として、「<b>みまもりあいプロジェクト</b>」を推進し、見守りにかかわる数を増やし、安心して暮らせる街づくりをすすめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年層のボランティアの発掘をすすめるため、学校園やこどもを対象とした各種団体に向けて事業周知を行ったり、「ボランティア申し込みフォーム」に速やかに移行できるQRコードを事業周知ポスターに掲載し広域的に周知し、新規ボランティア増加に努めた。</li> <li>・見守り対象者として「こども」「障がい者」等、「高齢者」以外の認識が高まるよう、ボランティアリーダー連絡会でヤングケアラーに対しての研修会を行うなど、地域による見守り活動の維持・強化の取組をした。</li> </ul>	<p>「このはな地域見守りタイ」事業のボランティア数の増加 令和7年度末目標 280名</p> <p>(令和6年度末 257名、 令和7年9月末 257名)</p>



# 経営課題 3 区民の健康の維持・向上

課題認識	R 7 年度 主な戦略	R 7 年度 取組状況	現時点での評価
<p>区民の健康の維持・向上を図り、目標・使命に掲げる街を実現するため、次の事項に取り組む必要がある。</p> <p>・区民の健康に対するリテラシーを官民共創で向上させるとともに、行動変容を促すこと</p>	<p>・がん検診等の受診率向上</p> <p>・様々な区民との接点を持ち、健康意識改革のための周知啓発を行う。</p>	<p>・此花区公式LINEでがんについての情報発信を行った。</p> <p>・官民共創で、ヘルスリテラシー向上のためのイベントを実施し、検診（健診）受診についての情報発信を行った。</p> <p>・区内スーパーなどの商業施設等に働きかけ、様々な年代へ血管年齢測定等を実施し、生活習慣病の予防等に役立つ各種検診や健康診査の受診啓発を行っている。</p> <p>・医師会や訪問看護ステーション連絡会と連携し、区民向けに血管年齢測定等や健康相談を行うとともに、多職種の情報共有の場を設け、区民への健康意識向上とともに多職種の連携を密にしている。</p>	<p>・LINE等でがん検診受診についての中間アンケートを実施。考え方に変化のあった人は56%であった。</p> <p>行動変容につながるよう引き続き働きかけていくとともに、ヘルスリテラシー向上のため、LINEで発信した情報を他の広報媒体など色々な手段で発信し、より多くの方へ届けられるような工夫を行う必要がある。</p> <p>・官民共創のイベントを実施したり、区内スーパーなど商業施設での血管年齢測定を実施したりすることで、今まで周知できなかった年代にもアプローチすることができている。</p>

# 経営課題 4 子育て環境の向上

課題認識	R 7 年度 主な戦略	R 7 年度 取組状況	現時点での評価
<p>子育て環境の向上を図り、目標・使命に掲げる街を実現するため、次の事項に取り組む必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ こどもの居場所、役所間において、情報交換を行うことにより、安定的かつ効率的な運営を図る必要がある。</li><li>・ 学校において、不登校、ヤングケアラー等の児童生徒が増加し、今まで以上の対応が必要である。</li><li>・ 児童生徒に、さまざまな課題解決に役立つ論理思考力を養わせること</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 此花区こどもの居場所連絡会の共同事務局である<b>此花区社会福祉協議会と連携</b>し、公式LINEにて、区役所作成の支援の気づきのポイントやつなぎ方などを定期的に配信し、気になる子どもの気づき力の向上に取り組むことで連携の強化を図る。</li><li>・ <b>スクールカウンセラーを増員</b>し、子どもとその保護者への心理的サポートの強化を行う。</li><li>・ <b>論理的思考力クイズ「名探偵このはちゃんからの挑戦状」の動画を作成</b>し、区広報誌やLINEなどで発信。学校や町内掲示板へのポスター掲示の協力依頼を行い、地域での論理的思考力の浸透を図る。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 此花区こどもの居場所連絡会の公式LINEを使って、区役所作成の支援の気づきのポイントやつなぎ方などを定期的に配信中。</li><li>・ スクールカウンセラーを増員し、各学校の配置日数を拡大したことで、子どもや保護者に対して定期的に心理的なサポートができる体制が強化されている。</li><li>・ 5月から広報誌でクイズ問題を展開し、動画も配信。学校や町内掲示板にも掲載。地域のイベントにも参加し、論理的思考力の浸透を図っている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 引き続き、定期的な配信を続けることで、気になる子どもの気づき力の向上を図っていくことができると考えている。</li><li>・ 学校からは増員により助かっているとの声をいただいております。増員による今年度の相談件数を把握し、必要配置の見直しを図っていく予定である。</li><li>・ 定期的な配信や地域イベントへの参加を続けていくことで、子どもに楽しみながら考える力を身につけてもらうとともに、保護者に考える力の大切さを浸透させていくことができると考えている。</li></ul>

# 経営課題 5 各種施策展開の土台づくり 【魅力創出・伝わる広報①】

課題認識	R 7 年度 主な戦略	R 7 年度 取組状況	現時点での評価
<p>あらゆる施策展開に共通する土台として次の事項に取り組む必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「住むなら此花区！」と思える街を実現していくために、企業等と共創・連携し、此花区に新たな魅力を創出していくこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「<b>ウェルビーイング此花</b>」を通じて、「住むなら此花区！」と思える街の実現に向け、いくつかの新たな価値創造プロジェクトを立ち上げる。計画が整ったプロジェクトからスピード感をもって着手していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共創プロジェクト立ち上げ（5件） うち2件については共創の取組を実施</li> </ul>	<p>複数のプロジェクトを立ち上げるとともに一部実施にもつながっており、「ウェルビーイング此花」を通じた官民・民民共創の取組が順調に進んでいる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・LINE登録者数を増やし、情報発信や施策に反映するための土台作りを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民が多く集まるイベント（区民まつり等）で<b>LINEの登録者数を増やす</b>。</li> <li>・広報誌にてLINE登録と関連付けてプレゼント企画を行う。</li> <li>・乳幼児健診、保育所入所相談等でLINE登録を呼びかけ、子育て世代の登録者数を増やす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LINE登録者への抽選会を実施 アートイベント（5月24日及び11月2日） 臨港緑地エリア水辺イベント（9月27日） 此花区民まつり（10月26日）</li> <li>・子育て世帯の登録者数増をめざし、関係担当先と連携し窓口手続きの際など登録の呼びかけを実施</li> </ul>	<p>【LINE登録者数】 （ブロック数含む）</p> <p>令和6年10月 2,089人 令和7年 5月 2,517人 令和7年 6月 3,341人 令和7年10月 4,172人 （此花区人口約63,000人）</p> <p>各イベントごとに工夫を凝らした企画を行っており、順調に増加している。</p>



# 経営課題 5 各種施策展開の土台づくり

## 【伝わる広報②】

課題認識	R 7 年度 主な戦略	R 7 年度 取組状況	現時点での評価
<ul style="list-style-type: none"><li>・「伝わる」情報発信に取り組むとともに、ターゲットを意識した効果的な媒体選定により、多くのあらゆる世代の区民が必要な情報を容易に収集できるようにすること</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>LINEチャットボット</b>やLINEから遷移する<b>HPの整理</b>を行い、情報にたどり着きやすい導線を築く。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ LINEリッチメニューのカテゴリを整理し、チャットボット機能を追加</li><li>・ 此花区公式LINE画面にリッチメニューを導入し、此花区のホームページに掲載している行政情報を閲覧可能とした。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ チャット機能を活用し、LINEからキーワード検索できる内容を充実させるとともに、リッチメニューを改良することで、あらゆる世代に向けてLINEから情報を取り入れやすい仕様とした。これにより各世代へ「伝わる」情報発信の取組を着実に進めることができた。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 発信するコンテンツの乏しさや発信力に限界がある（発信内容の充実が必要）。</li><li>・ 区外の方へ魅力を伝え、此花区に関心を持ってもらうための配信力が弱い。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 広報誌等による情報発信 月1回発行の広報誌に加え、<b>此花区の魅力発信にかかる動画</b>を2カ月に1度程度YouTube及び区役所入口のサイネージで広報する。</li><li>・ 区民や来訪者の関心が高いイベントについて、LINEを活用して動画配信を行うとともに拡散力のあるYouTube、Instagram、Xなどでも配信する。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 若年層にも情報を積極的に発信するため、週1回の万博コラムの配信（4月～10月）や、広報誌に関連する動画配信（2か月に1度程度）を実施するとともに、此花区の魅力について、閲覧されやすいショート動画をベースに作成し、YouTubeや区役所内サイネージにて放映</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 区の魅力を発信するため、令和7年度中に3回に分けて動画配信を予定している。 第1弾は9月末に配信済み、ショート動画の閲覧数は約1,600回となっており、若年層への情報発信を一定図ることができている。</li></ul>

# 経営課題 5 各種施策展開の土台づくり 【町会加入促進等】

課題認識	R 7 年度 主な戦略	R 7 年度 取組状況	現時点での評価
<p>あらゆる施策展開に共通する土台として次の事項に取り組む必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域が地域課題に対応でき、日常及び非日常時において「共助」が成立し、多くの住民が暮らしやすいと実感できる状態にすること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「<b>此花区町会加入促進アクションプラン</b>」に基づき地域の取組を支援する。</li> <li>・ 地域活動協議会の更なる活性化のため事務負担の軽減を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たに建築される集合住宅等情報（大規模建築物事前協議制度や建築物事前公開制度情報）を活用した建築事業者への働きかけを実施。 6 件</li> <li>・ 地域活性化支援事務所（このはなまちセン）を活用し、会計事務の負担軽減を図るため事務説明会を実施。 会計システム説明会 4 回 会計事務情報交換会 2 回</li> <li>・ 地域のイベント開催時に町会加入促進の取り組みを実施。 2 地域</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新たに建築される集合住宅への働きかけについては、引き続き取り組む必要がある。</li> <li>・ 令和 7 年度決算事務が円滑となるよう中間決算を行うなど、さらなる会計事務の負担軽減を図る必要がある。</li> </ul>

課題認識	R 7 年度 主な戦略	R 7 年度 取組状況	現時点での評価
<p>あらゆる施策展開に共通する土台として次の事項に取り組む必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的なつながりが希薄な世帯や複合的な課題を抱える世帯に対し、適切な支援が行えるようにすること</li> </ul>	<p>社会的なつながりが希薄な区民や世帯を支援に結び付けるために、区役所全職員が感度を上げるための研修を実施するとともに、支援会議等を定期的に開催し、適切な支援に結びつける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援が必要であるにもかかわらず、支援が届きにくい区民を適切な支援に結び付けるため、生活困窮者自立支援法に基づく支援会議のうち、ケース検討を行う会議（<b>生困シェア会議</b>）を、「随時開催」から月1回の「定例開催」に変更し、進捗状況を含め、関係者間で情報共有・連携を実施。この取組を通じ、より密で円滑な連携が可能となり、解決に結び付いていないケースのフォローアップを行っている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>生困シェア会議 8回開催</li> <li>支援会議 1回開催</li> </ul> </li> <li>・複合的な課題を抱える区民や世帯の課題解決を図るため、支援機関が役割分担や支援の方向性等を決定するための総合的な支援調整の場である「<b>つながる場</b>」会議を開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>「つながる場」会議 4回開催</li> </ul> </li> <li>・区役所全職員の感度を上げるための研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活困窮者自立支援法に基づく支援会議又は「つながる場」の定期的な開催年12回以上を達成見込み（目標年次：令和7年度）</li> </ul>